

単元名「My Dreams for the Future」 (第3学年 話すこと【発表】)

■ 本事例のポイント

1. 単元を貫く問いを設定することで、常に単元目標に立ち返りながら、言語活動に取り組めるようにした。
2. 単元目標を達成するために役立つ表現、考え、意見等を共有し、自分に必要な表現を選び取りながら言語活動に取り組めるよう促した。

■ 単元の目標

よりよい未来の実現に向けて“Our Action in ○○ JHS for the Future”をテーマに、「私たちにできること」について後輩が行動を起こしたくなるようなメッセージを伝えることができる。

■ 単元の指導計画（9時間）

第1時

「単元の見通しをもつ」

- ・教科書本文の概要をつかむ。
- ・後輩へのメッセージ動画を録画する。（単元末との変容を見取るため）

第2～4時

「新出文法を用いた言語活動に取り組む」

- ・教科書のリスニング題材を活用し、生徒同士のやり取りにつなげる。

第5～8時

「『私たちにできること』について友達とやり取りする」

- ・教科書本文を学習者用デジタル教科書ややり取りを通して理解する。
- ・教科書本文から学んだことや本文から活用できる表現を参考に「私たちにできること」を伝え合う。

第9時 パフォーマンステスト

「後輩にメッセージを伝えよう」（録画）

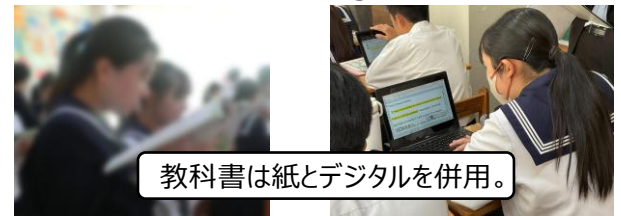
■ 本時の概要

目標：教科書の登場人物のプレゼンテーションを読んで、よりよい世界の実現に向けて自分ができることについて伝え合おう。

① Small Talk



② New words & Reading



③ やり取り→☆中間指導（学習調整含む）→やり取り ④ 振り返り



① Topic「What's an eco-friendly activity you do?」

* 単元目標に関連するトピックを各時間設定する。

② 学習者用デジタル教科書の活用（新出単語・音読）

③ 単元を貫く問い「What can you do for a better future?」

☆ 中間指導：「相手が行動したいと思うこと」→身近でできることは何か？→もう一度表現を確認する時間をとる。→ペアを変えてもう一度やり取りを行う。

■ 学習調整をしている子供の姿

言語活動（やり取り）

教師は生徒の活動をモニタリング。

共通のエラーやよい表現を中間指導に生かす。

これまで書き溜めた表現を使ってみよう。

Point!

教科書は紙とデジタルを併用。目的に応じて使いやすい方法で。

メモの工夫

△原稿を暗記

◎メモ（キーワード）を基に話す → 即興で話す力の向上

書き溜めた表現をクラウドで共有。友達の学びからも学べる環境づくり。

■ 指導と評価の工夫

① 中間指導→学習調整

* 生徒の言語活動の様子を踏まえて中間指導を行う→ペアで作戦会議の時間を設定することで生徒が目的達成のために各自で学習できる。

* 振り返りシート、教科書、生成AI※等を活用。

※生成AIについては、所管の教育委員会及び保護者の許可を得て使用している。

帯活動のワークシートにも、使える表現があったかも。

② メッセージ動画作成に向けて役立つ表現の抜粋

* 「よりよい未来に向けて『私たちができること』について、後輩に実際に行動したいと思ってもらえるようなメッセージを動画で伝える」という目標に対してメモの取り方（振り返りシート、ウェビングマップ等）、発表方法（時間や使うもの）を制限しないことで、生徒の自由な発想を促すことができる。

パフォーマンステストの様子

単元を通して言語活動における相手意識を大切にする中で、英語表現の工夫以外にも、実物を見せたり、絵を描いてキーワードを伝えたりしている生徒の様子があった。

Point!

③ 振り返りシートの活用

* 毎時間「目標」「キーポイント」「振り返り」を記述することで、授業と授業のつながりを感じながら学ぶことができる。単元を通した学びを振り返ることで、自己の変容を捉えることができ、メタ認知能力の育成につながる。

Sanity. Water. Sea. Water pollution. fish. micro plastic (throwing trash/plastic). No littering → trash can garbage. separate garbage. Some countries don't have enough water → dirty water → poverty. Oshino → clean water → Mt. Fuji. Environment. Environmental destruction. Animal. Lead to our health problems. 6th and 14th mission of the sustainable development goals (SDGs) I will explain the reason. In this way we can... If everyone takes such action we can start to change our surroundings.	environmental destruction social issues going to talk about the problem: getting worse plastic pollution/プラスチック汚染 harming/害を及ぼす we need to recycling saving energy its important small quickly	our actions in Oshinohi for the future actions in Oshinohi for the future weather/気象 result/結果 ignoring/無視した protect our future/未来を守る recycle instead should for a better future remember every day really matters	take small actions/小さなことでも行う
---	---	---	------------------------------

第(3)時 Tinaのプレゼンテーションを聞いて よりよい世界の実現に向けて自分に できることをがんばろう!	by making smart choices	プレゼンテーションの聴き方を学べたら、聞かす 人から何について話すのかを理解できるからいい と思う。他にも文をつなぐ一文や、感情の一致も各々に なからうし楽しみながら自分のプレゼンテーションに活かして ね!
第(6)時 多人数の会話を聞いて、自分 の意見についてやり取りし てみることにしよう!	admire... 感心する。 憧れ	動画を見て、ナオトレでSDGについての理解が深まった から、自分から何かにできるのかをやり取りする機会に できた。気をつけていることは、思い通りにいかないから それらを英文にできるような表現方法を学べたこと。

■ 成果 (○) と課題 (▲)

○言語活動の目的・場面・状況を明確に設定したことで、生徒同士のやり取りにおいて「相手意識」に着目することができ、より具体的な表現につながった。

▲「よりよい未来の実現」というテーマに向かう生徒の思いが希薄化していた。→T-Sインタラクションを通して、より「身近なこと」に注目するよう促す。

▲振り返りシートをデジタル化することで、即時的に意見を共有したり、評価したりできるようにする。